



北東インド カルピ・アングロンのアジアゾウ

## 2018年秋、世界が日本の象牙市場閉鎖を強く求める

2020年7月、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。その折には、日本の風俗習慣や社会システムも国際的な注目を集めることになるでしょう。その頃には日本の象牙市場は、世界でほとんど唯一の、合法化されたオープン市場となっているでしょうから、日本を訪れる人々には奇異に映り、非難も受けるに違いありません(そもそも日本による閉鎖の拒絶は日本のワシントン条約決議に違反しています)。さらに悪いことには、日本で堂々と象牙を買えるのをよいことに、それをこっそり自国に持ち帰る人も少なからず現れることでしょう。

この間、楽天、イオン、イトーヨーカドー、メルカリ等の大手小売業者が象牙からの撤退を表明しています。その背景には、世界の常識に背を向けるような事態になっては企業価値が損なわれるという判断があります。日本政府やヤフーなど一部の企業は、そのような事態になっても平気だと考えているのでしょうか。それはもはや、愚策というほかないでしょう。

日本政府がそのような考えを改め、アフリカゾウを将来にわたって保全しようとする世界の国々の輪の中に入るべ

く、一步を踏み出すきっかけはいつ訪れるのでしょうか。

2019年の5月にスリランカの首都コロンボで開催されるワシントン条約第18回締約国会議(CoP18)が一つの節目という意見もあるかもしれません。しかし、この会議では、ウナギを規制対象に加える議題やイワシクジラの条約に違反しての公海からの持ち込みなど、日本にとって厳しい議題が待ち構えています。加えて象牙問題でも日本が標的になるようなことになれば、日本は「CoP18最大の問題国」という印象を世界に持たれてしまうのではないのでしょうか。

2018年10月1~5日には、ワシントン条約第70回常設委員会が開催されます(ソチ・ロシア)。また、同じ月の10、11日には、ロンドンで第4回「野生生物違法取引会議」が開催されます。閣僚級の政府代表が集まることが想定されていますが、その中心的な話題の一つが国内象牙市場の閉鎖です。これら10月の会議に先だって、国内象牙市場閉鎖の意思を明確にしておくことが、日本にとって賢明な措置というべきでしょう。

# 象牙市場閉鎖プロジェクト

## 「ゾウとの約束」キャンペーン実施中

- ・「象牙のハンコは買わない」ことをゾウに約束し、(象牙でない)ハンコを署名用紙に押し、象牙の小売業者に「ゾウとの約束」を訴えます。
- ・キャンペーンを盛り上げるため、「ゾウとの約束」イベントも開催しました。



第1回：瀬木貴将トーク&ライブ(2月23日 於JTEF事務局)



第2回：新井晴みシナリオ朗読「エリカ」  
(6月30日開催予定 於JTEF事務局)

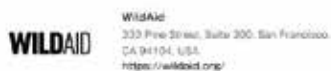
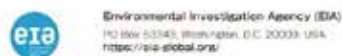


これら以外に、「こんにちはシャンシャン祭り」(1月、上野公園)、「アースデイ東京」(4月、代々木公園)などでも、署名用紙への「押印」をお願いしました。



上野公園にて(左)、代々木公園にて(右)

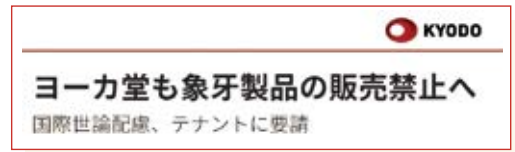
- ・3月3日の「世界野生生物の日」(2013年の国際連合総会で指定)、トラ・ゾウ保護基金ほか以下の5団体で、象牙印を取り扱う事業者・関係団体に、「象牙印章の取扱いの停止」を要望しました。



要望先の事業者・関係団体は以下のとおりです。

- ▶ **株式会社イトーヨーカ堂**(本社：東京都千代田区)  
東日本を中心に168店舗を展開される国内有数の総合スーパー
- ▶ **ユニー株式会社**(本社：愛知県稲沢市)  
関東から北陸・東海エリアに200店舗以上を展開するショッピングセンター・スーパーマーケット チェーン
- ▶ **株式会社グレート**(本社：東京都台東区)  
「はんこ屋さん21」のブランドで全国に約300店舗を展開する国内有数の印章等小売フランチャイズ チェーン
- ▶ **ヤフー株式会社**(本社：東京都千代田区)  
Yahoo! Shopping やヤフオク!等を運営する国内有数のイーコマース事業者
- ▶ **公益社団法人 全日本印章業協会**(東京都千代田区)  
印鑑登録制度の健全な発展に寄与することを目的とする印章小売事業者の団体

- ・この要望の結果、3月28日にはイトーヨーカドーから、直営店では象牙製品の販売を既に停止し、テナントにも販売停止の要請を通達したとの回答がありました! この結果は、共同通信が配信し、各紙で報道されました。他の3社+1社団からは残念ながら回答はありませんでした。



## 第69回常設委員会に参加して、各国へはたらきかけ

2017年11月27日から12月1日にかけて、ワシントン条約常設委員会が開催されました(ジュネーブ・スイス)。昨年9-10月のCoP17から1年あまり。そこで採択された国内象牙市場閉鎖決議の効果的実施が議論されることになったのです。

この議題の検討は主に作業部会で議論され、象牙行動計画の策定を求めるアフリカ諸国やJTEF等が発言、これを拒む日本政府が対立しましたが、最終的には、今回は象牙行動計画の策定の勧告は見送るものの、日本に管理の成果を次回の常設委員会(2018年10月)に文書で報告させるということで決着しました。



今回、常設委員会が日本に対して文書での成果の報告を求めることになったことには大きな意味があります。常設委員会が日本の象牙管理に対して監視を強める重要な一歩を踏み出したことを意味するからです。



# 北東インド アジアゾウ保全プロジェクト

JTEFは、インド野生生物トラスト(WTI)と、アッサム州のカルビ・アングロン自治県でアジアゾウの保全活動を行っています。

現地パートナーのWTIは20周年!



## 水田地帯におけるゾウとのトラブルを防止する

水田地帯では、森林コリドーと水田の間に電気柵を張ってゾウの水田への進入を防ぐ努力をしていますが、ゾウが違うルートから田んぼに入って稲を駄目になってしまったり、コメを貯蔵してある家を壊してしまう事故が起きます。ゾウと人とのトラブルを完全にはなくすることができないとすると、村人の被害感情を和らげるための次善の策が必要となります。それが、「米には米」プロジェクトです。2017年1月～11月の間に被害を受けた114世帯に5.7トンのお米をお見舞いとして提供しました。



## 負傷した野生動物を野生復帰させる

2017年4月から2018年3月までの間に、4頭のゾウが救護されました。1頭が幼児期の、3頭は新生児のゾウでした。母ゾウと人とのトラブルで取り残されたり、理由不明ですが1頭だけボツンとしていて保護されたものです。これらのゾウはいずれも飼育下で死んでしまいました。弱った新生児や幼児のゾウを回復させるのは非常に難しく、その後野生復帰させるまでには手間と時間が相当かかります。厳しいチャレンジの中で現場は頑張っているところです。救出したシカ、多くのスローロリス、は虫類などは大部分が手当等を行った後に野外へリリースされています。



## ご寄附のお願い

北東インドの活動場所であるカルビ・アングロンは、国道を挟んで、世界一のインドサイの生息地・世界一トラの生息密度が高い保護地域として有名なカジランガ国立公園に接しています。しかし、この地域は、これからモンスーンのシーズン。大量の雨が降り、プラマプトラ川の氾濫源であるカジランガは多くの部分が水没します。水難を逃れてカルビ・アングロンに移動しようとする動物たちが車にひかれてしまいます。この時期、WTIのスタッフは24時間態勢で野生動物の救護に当たりますが、こういう体制を毎年維持していけるようご支援いただきたく、よろしくお願いいたします!



ご報告  
**チャリティー  
 パーティー**  
 2018年  
 6月2日(土)  
 ビヤステーション恵比寿にて



「JTEFの活動を支えるチャリティー実行委員会」が開催するチャリティー・パーティーに、たくさんの賛同者やサポーターの方々にお越しいただきました。今年はゲストにボリウッド・ダンサーのアンジェラ・ラーガさんをお迎えし、ドネーションでもたくさんの方々からご協力いただき、とても賑やかで楽しい会となりました。みなさま、どうもありがとうございました。

○ドネーションについてのご報告○

**A** **トラ**



カジランガのトラ ©WTI

パトロール装備・技術訓練費用  
 (目標300,000円)

**B** **ゾウ**



カジランガのゾウ ©Jose Louise

傷ついたゾウのレスキュー費用  
 (目標300,000円)

**C** **イリオモテヤマネコ**



©山口美香

観光客増に伴う課題調査費(屋久島)  
 (目標300,000円)

**C** **緊急支援  
 イリオモテヤマネコ**



西部エリア夜間パトロール費用  
 (目標50,000円)

当日出席して下さった  
 方々からいただいたご寄付

- A ..... 30,500円
- B ..... 37,500円
- C ..... 2,000円
- ◎緊急支援.....35,500円
- 無指定 ..... 1,000円

**計 106,500円**

パーティーに参加されな  
 かった方々からJTEFに  
 およせいただいたご寄付、  
 その額も含めると、

- A ..... 284,500円
- B ..... 261,000円
- C ..... 190,500円
- ◎緊急支援... 35,500円
- 無指定 ..... 17,000円

**計 788,500円**

以上のご寄付は全額、「実行  
 委員会」からJTEFにご寄付  
 いただきました。

JTEFは、個人サポーターの方々からのご寄付の他、法人・団体からのご寄付、助成金、チャリティー・イベントでのご寄付で運営されています。たくさんのご寄付を、どうもありがとうございました。いただいたご寄付の最終的な決算の内容は、2019年2月発行予定の「年次報告書」(トラ・ゾウ・イリオモテヤマネコ・JTEF全体の4種)でご報告いたします。

●【JTEFの賛同者】

- 相澤登喜恵さん(動物肖像画家)、新井晴みさん(俳優)、安藤元一さん(ヤマザキ学園大学教授)、池田卓さん(シンガーソングライター)、井上奈奈さん(現代アーティスト)、岩田好宏さん(子どもと自然学会顧問)、牛越峰統さん(一般社団法人日本プロサーフィン連盟理事長)、大森享さん(北海道教育大学教授)、岡田彰布さん(野球評論家)、小川潔さん(東京学芸大学教授)、加藤登紀子さん(シンガーソングライター)、蟹江杏さん(版画家)、見城美枝子さん(青森大学副学長・エッセイスト)、巨勢典子さん(作曲家・ピアニスト)、小林裕児さん(画家)、権藤真禎さん(社団法人兵庫県自然保護協会理事長・元神戸市立王子動物園園長)、坂本美雨さん(ミュージシャン)、沢田研二さん(歌手)、瀬木貴将さん(ミュージシャン)、田中豊美さん(動物画家)、田中裕子さん(俳優)、田畑直樹さん(葛西臨海水族園園長)、土居利光さん(前恩賜上野動物園園長・日本パンダ保護協会会長)、並木美砂子さん(帝京科学大学教授)、根本美緒さん(フリーキャスター・天気予報士)、南ぬ風まーちゃんうーぼーさん(三線アーティスト)、ヒサクニヒコさん(漫画家)、平岩弓枝さん(作家)、福井崇人さん(2025PROJECT 理事)、福田豊さん(恩賜上野動物園園長)、藤木勇人(志いさー)さん(唸家)、古沢広祐さん(國學院大學教授)、前川貴行さん(動物写真家)、松田陽子さん(シンガーソングライター)、水野雅弘さん(株式会社TREE代表・プロデューサー)、三石初雄さん(帝京大学専門職大学院教授)、宮下実さん(ときわ動物園園長・元近畿大学教授・大阪市天王寺動物園名誉園長)、村田浩一さん(日本大学生物資源科学部教授)、森川純さん(酪農学園大学名誉教授)、八千草薫さん(俳優)、山極 壽一(京都大学総長/進化論・生態学・環境生物学・動物学)、山崎薫さん(学校法人ヤマザキ学園理事長)、吉野信さん(動物自然写真家)、渡辺貞夫さん(ミュージシャン)

50音順 敬称略

**イベント 2018**  
 INFORMATION

「世界トラの日」  
 にブース出展

2018年7月29日(日)  
 場所: 上野動物園

「世界ゾウの日」  
 にブース出展

2018年8月12日(日)  
 場所: 上野動物園

**ナマステ・インドア 2018**

2018年9月29日(土)、30日(日)  
 場所: 代々木公園 B地区

**ディワリ・イン・ヨコハマ 2018**

2018年10月(日は未定) 場所: 山下公園

インドのお祭り、  
 トラ、ゾウのパネルや  
 グッズを展示します。

JTEFの活動は、皆さまからのご寄附で支えられています。野生動物と私たちの豊かな自然環境を守るために、ぜひ私たちの活動をご支援ください。

【年間サポーター費、随時寄附のお支払方法】

ゆうちょ銀行  
 口座番号) 00170-7-355897  
 加入者名) トラ・ゾウ保護基金

※年間サポート費(ご寄附)、随時の任意額ご寄附を年間2,000円以上くださいました方は、所得税の控除申告ができます。

☺ ホームページからクレジットカードでもご寄附いただけます。  
<http://www.jtef.jp>

**JTEFの活動を  
 支援ください!**



認定NPO法人  
**トラ・ゾウ保護基金**  
<http://www.jtef.jp/>

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-5-4 末広ビル 3F  
 Tel: 03-3595-8088 Fax: 03-3595-8090  
 E-mail: hogokikin@jtef.jp <http://www.jtef.jp>  
 郵便振替口座: ゆうちょ銀行 口座番号)  
 00170-7-355897  
 加入者名) トラ・ゾウ保護基金

ゾウ保護基金通信 vol.28  
 発行日: 2018年6月29日  
 発行人: 戸川久美  
 編集: 坂元雅行  
 デザイン: 土肥優子